

マシンコントロール油圧ショベル・マシンコントロールブルドーザ

マシンコントロール油圧ショベル

PC128USi-10

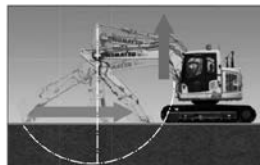
見やすく使いやすい
大画面コントロールボックス

コントロールボックス (ICT専用モニタ) には、視認性、使いやすさを追求した12.1インチ大画面を採用。見やすく視界をさまたげない位置に装着されているため、コントロールボックスを確認しながらスムーズに作業が行えます。また、シンプルな画面構成で、必要な情報をわかりやすく表示。アイコン表示とタッチパネルにより、操作も容易です。

インテリジェントマシンコントロールで
作業機操作をセミオート化

■ 自動整地アシスト

アーム操作した際に、バケットが設計面に沿って動くように自動でブームが上昇。粗掘削作業では設計面を気にすることなく作業が行え、仕上げ作業ではアームレバー操作のみで作業が可能です。さらに、ブーム下げ操作を入れておくことで施工範囲が広がります。



■ 最短距離制御

バケットは設計面に最も近い点を自動で検出し、刃先制御しています。作業中にバケット刃先の管理ポイント (右・左・中央) を選択する必要がなく、設計面に正対していなくても掘り過ぎを気にせず作業が可能です。



■ 自動停止制御

ブームまたはバケットを操作した際に、バケット刃先が設計面に達すると作業機が自動で停止するので、設計面を傷付けません。また、刃先位置合わせも容易です。



マシンコントロールブルドーザ

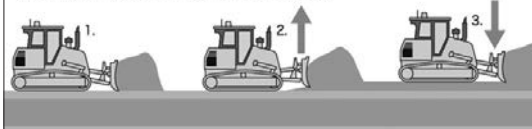
D37PXi-23



自動ブレード制御

D37PXi-23は、GNSS衛星と基準局から得た車両の現在位置情報と施工設計データをもとにブレードを自動制御。オペレータは車両を前後左右に操縦するだけで、設計図面通りの施工が完成します。

1. ブレード負荷が増大すると
2. シュースリップが起こらないように自動でブレードを上げ、負荷をコントロールします。
3. 常に抱えられる最大の土量で効率よく施工できます。

作業条件に合わせて最適に設定可能な
ドーピングモードとブレード負荷モード

■ ドーピングモード

作業内容に合わせて最適な作業モードが設定できます。



運土

通常の作業



切土

効率の良い掘削作業



敷き均し

ブレード高さより高い置き土を敷き均す作業



仕上げ整地

変化点を含む施工面の仕上げ作業

■ ブレード負荷モード

土質条件に合わせてブレード負荷設定を調整できます。



軽負荷 (ライトロード)

砂地や軟弱地などシュースリップが多い現場での作業、あまり土量を抱えたくない場合



標準 (ノーマルロード)

通常の作業



重負荷 (ヘヴィロード)

粘土質などの重い土質の現場での作業、特に大土量を抱えたい場合